

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)BEC第2工場建設工事	階数	地上4F
建設地	京都府福知山市長田野町1丁目37-1, 37-2, 38-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	190 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年9月18日
敷地面積	15,117 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社大林組児玉克史
建築面積	9,239 m <sup>2</sup>	確認日	2020年9月25日
延床面積	30,691 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社大林組児玉克史



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 96%  
③上記+②以外の 96%  
④上記+ 96%

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>高効率機器を積極的に採用することで省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物となるように配慮した。</p>		<p>その他</p> <p>特に無し</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>事務所スペースには、吸音材を積極的に採用し、室内環境の快適性を確保した。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>壁長さ比率を低く設定し、高い階高を確保することで、将来フレキシブルにプラン変更等に対応が出来るように計画した。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特に無し</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>建物内設備にはLED照明等高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>断熱材はODP及びGWPが低いものを採用し、節水にも配慮した設備を取り入れることで、環境負荷に配慮した計画とした。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>建設に伴って発生するCO<sub>2</sub>の発生量を低く抑えることで、地球温暖化防止に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される